

平成21年度「専修学校留学生総合支援プラン」成果報告書

事業名	留学生のための就職実践講座： 観光業界編		
法人名	学校法人 国際総合学園		
学校名	国際エア・リゾート専門学校		
代表者	池田 弘	担当者 連絡先	留学生生活指導担当 中村千代 Tel: 025-227-6335
1. 事業の目的・概要等			
<p>日本の「観光立国宣言」を受け、新潟県も2009年を「新潟大観光交流年」と定めて、日本海側最大の観光立国を目指すこととなった。本講座は、将来、新潟の観光ビジネス界での活躍を目指す留学生のためのプログラムで、地元観光業界と行政機関の協力のもと、基礎知識修得後の観光実習と観光関連企業における実務経験を通して実践力を養成することを目的として開講することになった。しかし、受講者の日本語能力・観光に関する知識が限られていたため、1～2年後の就職実現を目指すための基礎力養成に重点をおくこととしたが、新潟市・佐渡市・魚沼市等外国人観光客誘致に積極的な地域の理解と協力のおかげで、受講者は新潟への理解を深め、将来の目標をしっかりと定めることができた。また、実習で関わった各地域の行政機関や地域住民からは、外国人に対する理解が深まったとして、今後の更なる協力の申し出を受けた。これにより、受講者が将来新潟の観光業界に就職するための道筋が大きく開かれる結果となった。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間）			
<p>新潟の観光業界に就職するために必要な日本語力・コミュニケーション能力、接客マナー、文化体験、新潟の観光（地理・歴史を含む）に関する基礎知識の修得を目指して、下記講座を開設した。また、授業で学んだ知識を体験的に理解するために、観光地実習を実施した。なお、受講者全員が全過程に出席できる見込みがなかったため、特に修了基準は設けなかった。</p> <p>●開設講座数： 8講座（実習・研修を含む） ●総授業時間数： 190時間 ●開設期間： H21年10月5日 ～ H22年2月26日 （内訳）</p> <p><日本語および専門分野に関する講座></p> <p>ビジネス日本語： 30時間 日本語コミュニケーション： 30時間 日本事情： 10時間 接客・ビジネスマナー： 30時間 新潟の観光： 30時間</p>			

<実習>

観光実習Ⅰ	魚沼市：	20時間（1泊2日）
観光実習Ⅱ	新潟市：	20時間（1泊2日）
観光実習Ⅲ	佐渡市：	20時間（1泊2日）

上記の他に、地域住民との交流を図るため、農家での農業体験・ホームステイ・パネルディスカッション、小・中学生との交流、交通安全指導のためのボランティアなどに積極的に参加させた。

また、観光実習Ⅳとして冬の魚沼市での実習を予定していたが、記録的大雪の影響等もあって受入れ側・参加学生側双方のスケジュールの調整に時間がかかったことで、当プログラム期間内での実施ができなかった。しかし、H22年初頭から準備していたことに加えて、後述(3-②)の「魚沼観光サポート制度」についてのプレゼンテーションを予定していたため、プログラム外の実習として、3月15日・16日に20時間（1泊2日）の観光実習を行うこととした。

②受講者の募集方法（手法・期間・効果）

H21年7月、新潟市内の専門学校の留学生担当者に直接連絡をとって、講座の紹介を行ったところ、同年9月までに、定員15名のところ、22名の応募があった。希望者全員の面接審査を行ったところ、大半の学生の日本語力が中級程度であることが判明した。また、本来の学業に加えてアルバイトに従事している上に講座開講日が不定期になることから、10月から2月までの講座開講期間中の全過程に常に全員が参加できる状況にはないと判断し、可能な限り出席することを条件に、希望者全員に受講許可を与えることとした。

③受講者の状況

新潟市内の専門学校で学ぶ7か国（中国・韓国・タイ・パキスタン・アメリカ・フランス・スウェーデン）出身の留学生22名が参加した。当初の計画では、定員は15名であったが、上述(2-②)の通り全員が授業や観光実習の全過程に出席することは難しいと判断し、参加希望者全員に受講の機会を与えた。実際、特に観光実習においては、各回定員の15名を上回ることにはなかった。受講者の日本語既習期間は、数名の例外（学習期間2年以上）を除き、概ね1年～1年半で中級レベル程度であったが、観光に関する知識は非常に限られていた。

④受講者・企業の意識調査等

受講者の満足度は、「非常に満足」が60%、「満足」が22%、「普通」「やや不満」がそれぞれ9%であった。特に満足度の高かったのは観光実習で、中でも文化体験と地域住民との交流が有意義で、新潟の人と土地を理解する上で非常に役に立ったということであった。受講者の中には、実習後も地域住民との交流を続けている者もある。

一方、自身の日本語力や観光知識の不足を痛感した受講者も多かったが、本事業に参加したことによって将来の目標が明確になり、それを実現するために必要な技能と知識を修得しようという決意を新たにしたとのことだった。

本講座に満足できなかったという受講者は、講座のスケジュールが不定期で出席したくてもできないことがあったのが大きな理由とのことであった。

観光実習先の企業・団体等からは、「留学生と身近に接することによって、それまで遠い存在だった外国人が一気に身近な存在となった」「国際化と言われても何をどうしてよいか見当もつかずにいたが、日本人以上に好奇心が強く親しみのもてる人が多いことがわかり、今後は気負わず、自分達の長所をアピールして外国人観光客誘致につなげたい」という意見が異口同音に聞かれた。

⑤受講後の状況（修了者数・就職率）

「②募集方法」に記載の通り、全員が全過程に100%出席することはできなかったことと、今年度中の就職を目標としなかったため、特に修了基準は定めなかった。

今回の参加者は、最終的にはH22年度の就職は希望しなかったため、就職者数は0名であった。

3. 事業の評価に関する項目

①当初目的の達成状況

上述のように、本事業参加者における就職決定者は0名であったが、これは、就職対象者がいなかったことが主な理由である。2-④に記載の通り、受講者満足度が高かったことと、後述（3-②）の通り今後の事業展開を可能にする成果をあげることができたことから、本事業の目的はある程度達成することができたと考えている。

②事業の成果及び改善点

今回行った観光実習先のひとつである魚沼市から、H22年度に本事業参加の留学生を「観光サポーター」として任命したいとの申し出があった。そこで、本年度中に魚沼市、魚沼市観光協会、湯之谷温泉郷・尾瀬ルート活性化委員会にて協議を開始し、尾瀬ルート開通に合わせて本年6月1日に任命式を開催する予定で準備に入っている。実現後は、本事業の修了生が魚沼市の観光パンフレット・PRビデオ外国語版作成等による海外へのPR活動、外国人の視点からの意見交換会参加、各種年間行事参加およびサポート等を行い、魚沼市の目指す外国人観光客誘致に協力することとなる。また、魚沼市内の観光施設でのインターシップ研修も計画である。この様な実地研修を積むことによって、留学生の新潟観光業界での就職実現の可能性が広がると期待される。今回の事業は修了後すぐに就職に結びつくものではなかったが、1年後以降の就職実現へ向けての布石を敷くことができたため、ある程度の事業成果を上げることができたと考えている。

今後の改善点としては、受講者全員が100%受講できるようにするため、できるだけ定期的開催のようにすることが必要である。

今回は初めての試みということもあって試行錯誤の連続であったが、次回からはこの経験を活かしてスムーズに事業が展開できるようにしたい。

③次年度以降における課題・展開

今年度は受講者の日本語レベル・基礎知識レベルに厳しい基準は設けなかったが、次年度以降は一定の基準を設ける必要がある。そして、授業・実習ともに、より実践的で高度なレベルを保ち、受講者の就職に結びつけるようにしたい。

上述（3-③）の通り、H22年度は、魚沼市での「観光サポーター」としての活動やインターンシップ研修が予定されているが、これを成功させることによって、新潟県内の他の観光都市へも積極的に活動の範囲を広げていきたいと考えている。

④成果の普及

講座終了後、各分科会において報告会を開催したが、成果物と当報告書をもって、当事業に協力くださった企業・団体・講師への個別報告を年度内に行う予定。